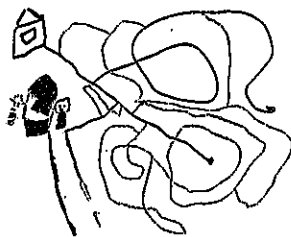
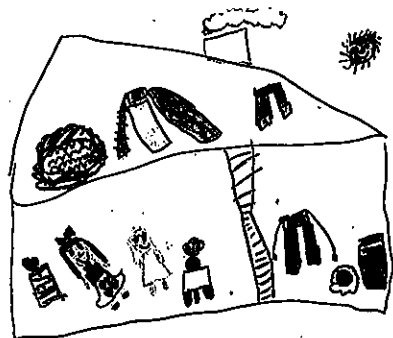
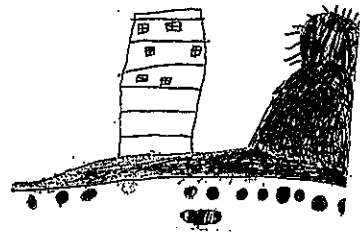


3月の聖句 ~神に倣うものになりなさい
 (エフェソの信徒への手紙— 5章1節)
 讚美歌 ~つくしのように (幼児さんびか)



杉の子保育園園歌

「めぐみの子ども」

作詞 福尾 野歩
 作曲 才谷梅太郎

Form Gm.

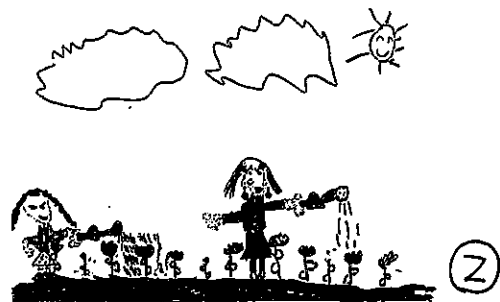
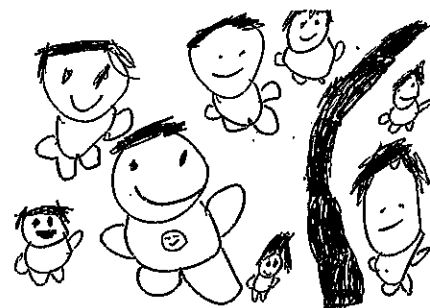
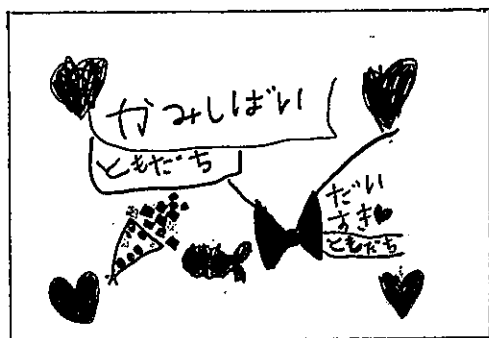
かわをわたるかぜにみちぼたにさくはな
 そらをわたるくもにかぜに一そよぐくさ
 にほほをぬらすあめにあいがあふれてい
 にふりそそぐひかりにあいがあふれてい
 るゆめをそらにえがいてみんなであるこ
 ろまちもうみちだいちもよびかけている
 ういまをいきるめぐみのこども
 よあなはきつとだいじょうぶだと

恵みのつゆ

川を渡る 風は

道はたに咲く 花は
 何ほを濡らす 雨は
 愛が あふれている
 夢を 空に描いて
 みんなで 歩こう
 今を 生きる
 恵みのつゆ

空を渡る 雲は
 風にそよぐ 草は
 降り注ぐ 光は
 愛が あふれている
 街も海も大地も
 呼びかけているよ
 あなたは きっと
 大丈夫だと



保育園にとって3月は、いつもお別れの月です。

今年度のひまわり組は21名。小さいころから元気でしゃんとこべえの女の子たちと、ほんわか男の子たちのクラスでした。一人ひとりみんな、素直ないい子に育ちました。いけずなこともなく、優しく育ってくれています。

杉の子で過ごした保育年数の平均は5年と3カ月を超えます。5年以上が19名もあり、5年9カ月1名、5年10カ月1名、5年11カ月3名、6年1名、最長のSちゃんは何と6年8カ月保育です。こんな保育園はめったにありません。園として感謝の気持ちと、「ボくら職員はちゃんとやれてたのかなあ？」と責任の重さを感じるこの頃です。

そして、旧園舎の時代から通い続けてくださったお母さんお2人もいよいよ卒園です。港島の時代は病院とは別の2階建て園舎でした。中学生のSちゃんは今でも一番おしゃべりな赤ちゃんだったし、乳児クラス時代のHくんは年長の女の子に大人気だったことを今でも覚えています。

病院移転に伴う引っ越し、激変した環境の適応に四苦八苦できてきたかと思ったら、……………

……………そんな頃に保育園に入園したのが今のひまわり組です。

……………そして新型コロナ……。まあホントいろいろありました。その時々、お母さんやお父さんたちも大変だったと思います。思っていたイメージとかなり異なった保育園生活であったと思いますが、それでもやっぱり楽しかったと思いますし、ちゃんと子どもたちはいい子に育ってくれました。

そして3月は、引っ越しや退職、転園などで退園の方たちもいます。これまで、ありがとうございました。

職員では、きょんきょんことKNが杉の子保育園とお別れです。……………

保育園は子どもにとって遊びと生活の場です。小さい子どもたちが暮らす集団の場では、昔ながらのていねいな生活がより重要となります。良い生活をおくることや人としての美德や善悪は、一朝一夕で身につくものではありません。きょんきょんはお人柄と共に、地に足がついたところがあり、子どもたちや職員にとって非常にありがたい存在でした。

実はこの30年あまりで、保育の価値観というものが大きく変わっていきました。若い頃に身につけた常識や大切にしていたことが、時代によって変わり、正反対になることさえ起きたりもします。仕事を続ける中で難しいのは、そのことに対して自分がどう向き合うかということですが、きょんきょんもそういうことがたくさんあったらと思います。

そして次年度の主任は、OマンことHOがその役割を担います。どうかよろしく願いいたします。

さて話は変わりますが、私が一番はじめに勤務したのは半分幼稚園のような保育園でした。まだ男性が少ない時代で、月に10万円ポツキリのアルバイト保父でした。実は先日、その頃4、5歳と受け持っていた女の子と久しぶりに会ったのです。まさか大人になった42歳のYちゃんとおしゃべりできる日が訪れるとは、若い頃は予想だにしていませんでした。Yちゃんの話の中で驚いたことがあって、彼女の子どもの頃の一番昔の記憶が、なんと「園庭を囲む低いテラスで、けん玉を持ったゆうぼうと二人で座っていた」場面なのだそう。2人で、何を見ながら何を話していたのでしょうか…。もっと他になかったんかいな？と呆れたりもしましたが、同時に、自分たちが営んでいる普通の何気ない一つひとつの小さな出来事が、大切なことなのかもしれない、とあらためて感じたのでした。杉の子の子どもたちもこの3月で別れを経験しますが、些細で記憶に残らないことであっても、それは無かったことでは決してありません。きつとどこかにあるのかもしれないよ。どんどん忘れて、どんどん前に進んで、どんどん変化して行ってほしいなと思います。

15歳の頃に読んだ亀井勝一郎の「邂逅(かいこう)」という言葉が今も心に残っています。人は思いがけない出会いをたくさんします。人だけでなく、書物、音楽、学校や職場であったり…。その本には「人生とは邂逅である」と書いてありました。また、19歳の時に読んだ、キリスト教作家遠藤周作の本に「神は存在ではなく、働きである」とありました。偶然やたまたまは、神の働きでもあるという内容だったように覚えています。

子どもたちは、これからどんな邂逅をするのでしょうか。それはMつくにも、Mちゃんにも、お母さんやお父さんにもわからないことですが、どうか神さまの恵みがあるようにと祈っています。これまで本当にありがとうございました。

今村 優二



0.1歳児クラス

りすぐるーぷ

朝々とまごまだん冷え込めますが、りすぐるーぷのおんぶは寒さに負けずに毎日元気いっぱい過ごしています。

「ジグンデ」が増えてきました

ズボンの着脱を「ジグンデ」する方がちらほら... 手伝おうとすると「ちがう!」と言って最初からやり直そうとします。

なので一人でできた時は嬉しくて大満足の笑顔を見せてくれます。

他にもくつのお入れ・手洗い・エプロンの片付けやオモチャの片付けもしてくれる巧みになりました。友だちの姿を見て月齢の小さい子もするようになっていきます。

時間がかかる時もありますが、「ボクもできるんだ」「やってみよう」「できたよ〜」という気持ちが増えてきたんだよねと微笑ましい場面です。

いっしょが楽しい

人形もおんぶしてまごまごしている2~3人が同じ等になつてジグンデを繰り返します。「はいどうぞ」「いってきます」とカバンを持って手を繋いで歩いたり「あついでー」「かーかーしてね」とやりとりしながら、友だちとの距離感がぐっと近くなっています。

朝登園してきた子も「おはよう」とすばい友だちの方へ行きおまごを出します。友だちを見つけると「ヤッター」とジャンプして喜んで走りお母さんにバイバイするのをおまごに夢中になつる子もいるんです。

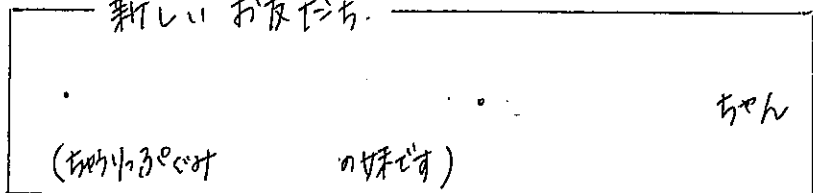


おんぶは楽しい
しい。

まごまごエピソードはありますがこの1年で自分でやろうとしたり、友だち同士でおまご時間が増えたよねと子ども達の成長に喜びを感じています。友だちのことも見てない方で見ている。お互いが気になつていい刺激になつているのだと思います。

りすぐるーぷで過ごすのも残り10月ですが、1人1人の思いや達成感を一緒に感じながら丁寧に関わっていきなうと思っています。大人も子どもも楽しい3月にしたいです!

1年間ありがとうございました。
新しいお友だち。



ねえって電車!!



コシが
たまる
んだ!!

ちゅうりぶぐみ 3歳児

この一年で、3歳児の遊びや友だち関係が、^分と深まったように思います。この遊びでは、お父さん・お母さんといった役を決めて、話し方や身振りなどになりきって遊んでいて、とても面白いです。製作では、異年齢で過ごしてきた中で、たくさん刺繍教をもらい、ハサミが上手になつていたリイ下りたいと思つたものを工夫して考えて作る姿がみられます。自由に描く『絵』では、描いた絵にはストーリーが込められていることが多く、嬉しそうに話してくるようになります。(マーカーも大活躍です！)

このような遊びの中でも、仲の良い友だち同士、1じの距離が近くなったからこそトラブルになることもあります。黄地を引きたり、カッとな、叩いてしまうことも... それでも、大人が代弁・代弁していくことで、少しずつ自分の思いを伝えられたり、相手の思いに気づいて納得したりする姿もみられるようになってきました。

一年を振り返ると、一人一人成長したなーと感動するものでした。

残りの一ヶ月、大好きなこすもひまわりぐみと幼児に仲間入りしたすずらんぐみからたくさん刺繍教をもらって、進級に向けて過ごしていきたいと思つています。★3月末

3月末日、^{んが退園します}
また元気な姿をみせて来てくださいね。

こすもぐみ 4歳児

2月からすずらんぐみ(2歳児)がたてわりご-ぶに仲間入りして、こすもぐみの子どもたちも更にパワーアップしたように思います。相乗効果ですね。園庭で遊んだ日は、率先して片付けをして、^働働かまのこすもぐみから、みんなが、たら早いよ、と、言、る子もいます。こにきてまたひつ頼もしくなった子どもたちです。2年間たてわりご-ぶで生活してきた自分たちが、してもらってきたこと、感じてきたことが子どもたちを豊かにしてくると感じます。先日も、絵を描くために、少し子どもたちの元を離れて準備をして、戻ると、自分たちが机と椅子をセッティングして、座り、準備万端で待っていることができました。たんだかジーンときましたね。あと子どもたち同士で、こう、あ、お、と、話して重なり合ったんだと思つています。

残り1ヶ月、ひまわりぐみのしていることを見たり、教をもらったり、ひまわりパワーを(かり)浴びらゆるように過ごしたいと思つています。一年間、温かく見守ってください。

ありがとうございます。

3月末日、みんなの大好きな
んが退園します。

い、い、い、
あ、あ、あ、

ひまわりぐみ 5歳児

2月は毎日「鳥の主様コンテスト」というお話の歌を毎日歌いました。「友だちと一緒に歌うって楽しい」と子どもたちがいきいきと歌う姿を見ると伝わってきます。その姿を年下の子が見て、11つの間にか歌を覚えるロズさんがいて、年下の子にも自然と楽しんで歌が伝染している様子が見え、いいなと思つきました。

また、コマ回しやなやとびも引き続き楽しめました。どちらもできるようになるまで時間はかかります。しかし、今まで竹馬やなやとび作りの三つ編みなど、ちょっと難しいことを頑張りと乗りこえてきたひまわりぐみ!! コマ回しもなやとびも頑張れば絶対にできるんだ! という強い思いがあります。

そして、毎日頑張りと練習すると、少しずつできるようになり、段々あもしろさを感じ始めました。「今日もコマ回したい! なやとびしたい!」、と毎日遊ぶのを楽しみにする子どもたちです。そして、「今日二人な跳びができるようになった!」「次は手の上でコマ回すわん!」、と新しいことにどんどんチャレンジしていますよ!

このひまわりぐみで過ごすのも残り1ヶ月。1日1日を大切にしながら遊んで、遊んで遊びつくしたいと思つています!! 1年間ありがとうございました。

ひまわりさん、すごい!



ひまわりさん(5歳頃)の卒園まで、いよいよ残り1ヶ月となりました。

ちゅうりっぷさん(3歳頃)や二つぽんさん(4歳頃)の姿を見ていると。

ひまわりさん、すごい!! ひまわりさん、か、かわいい♪ と思っている様子がヒシヒシと伝わってきます。今、ひまわりさん(は鳥の王様コンテスト曲という劇の歌を毎日毎日歌っています。先日、ホールにお披露目会がありました。それ以来、ちゅうりっぷさんや二つぽんさんも口ずさむようにはまりました。すずらんさん(2歳頃)の子も歌っている子がいると驚きです。二つぽんのMちゃん(は、口をぽかんと開けて「ひまわりさん... スゴイ」と言、2. 見ているました。

最近では、お昼ごはんの配膳をひまわりさんがお当番で1日2~3人ずつしてあげています。ひまわりさん=運んでもらうと子どもたちも本当に嬉しそうに、いい顔で待っています。配膳してもらう度に「ありがとう」と言う。二つぽんのMちゃん。配膳位置を指摘するちゅうりっぷのMちゃん(は大人は笑っていました。「ボウは何してらいいの?」と二つぽんのSちゃんやる気満々にはまっていることもありました。食事中も、すずらんの子がスプーンを落とさしたら、ひまわりさんがサッとスプーンを洗いに行くと、お汁をこぼした子がいたら、サッと合拭きで拭いてくれたり、その様子を大人で見ている子どもたちです。

遊びでは、いまだに12月のクリスマスプレゼント(降誕劇)の練習をしている子どもいます。「Mちゃんが歌ったこの曲、ひまわりさんにしたら歌いたいかん」とちゅうりっぷのMちゃんや二つぽんのNちゃんが2人揃ってマリア様にはたりき、熱唱しています。テラスで縄跳びをしている姿をホールの窓越しに見つめている子がいたり、「Cちゃんもやしたい」とひまわりさんが制作をしている横で見様見真似でや、2める子どもいます。

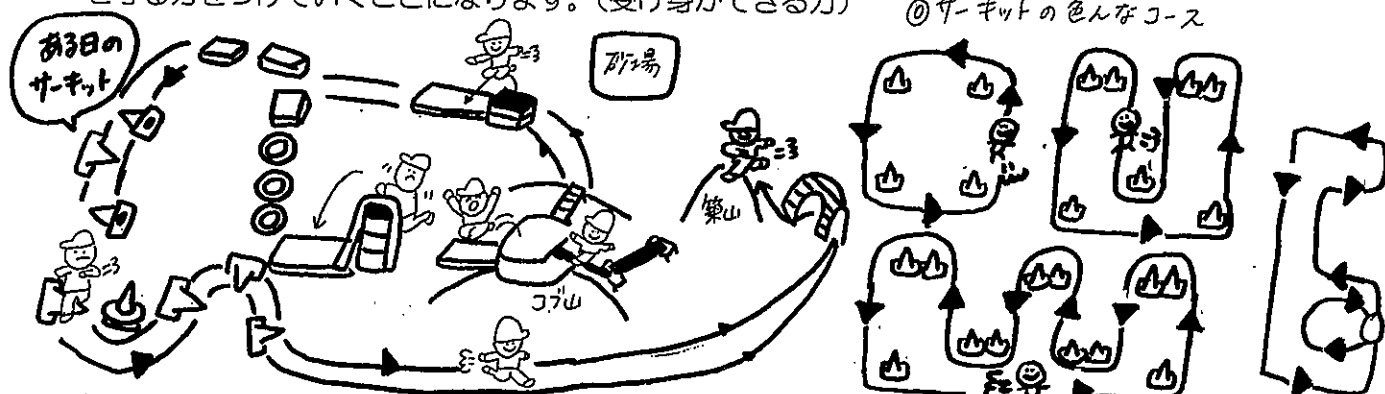
ひまわりさん、すごい! ひまわりさん、か、かわいい!! という憧れが、子どもたちの観察眼を養い、ボウやワタシもあめなりたい! や、2めたい! と意欲が掻き立てられ、更に子どもたちを逞しく成長させていくのだと、思います。ひまわりさんを見らゆること誇らしく思えるのだと、思います。

残り1ヶ月、ひまわりさんからたっぷり吸収して、パワーアップする子どもたちに期待しつつ、大女子はひまわりさん、ありがとう! がスゴイ!! と大人も子どもも一団にたふさ、ひまわりさんを送り出したいと、思います。

〔杉の子サーキット〕

「あっ！もりもり先生！」「みんな～！もりもりせんせいやで～！」と保育園に入ろうとする私をみて、大声でアナウンスしてくれる子どもたち。その声で数名の子どもたちが駆け寄ってきて、「今日は運動あそびの日？・・・やったー！」「そうやで。今日もいっぱい動いて、へろへろにしてあげよう！」と私の“もりもりスイッチ”は子どもたちによってONになります。

運動あそびの主なプログラムは《サーキットあそび》です。これは昔も今も変わりません。「マンネリでは…？」と言われてもやはり“乳幼児期の運動あそびプログラム”の優先順位のトップに来るのは間違いないと思います。何よりも子どもたちの動きたい！という欲求を満たしてくれる運動量が確保できること。巡回するコース上に設置された巧技台やフラッグコーン、マット、タイヤなどによって色々な身体の使い方を体験できること。そしてコースや設定遊具が変化していくこと。これらが子どもたちの好奇心を刺激し、挑戦意欲をかきたて、何度もコースを巡回したくなることにつながります。ひとことで言えば、『いっぱい動いて楽しい！』ということです。身体の様々な部位に多くの刺激を与えていくことによって、身のこなしが良くなり、大きなケガをしないための身を守る力をつけていくことになります。(受け身ができる力)



杉の子保育園の園庭はハッキリ言って特殊です。そんなに広くないですし、固定遊具もない。でも木に囲まれ、築山はあるし、木のトンネルもある。園庭のど真ん中には2つのコブ山があり、これが実にいいですね。この特殊さが杉の子でしかできないサーキットコースを生み出しているのです。倉庫にある巧技台、マット、コーン、フープ、タイヤ、なわ、ロイター板…それに木の椅子やベンチも立派な遊具となります。2枚の細長い板は坂道や渡るのが少し難しい橋に変身。置いてあるバケツを落とさないように渡ります。2つ折りの分厚いウレタンマットはただ歩いていくだけで楽しいし、高い巧技台から思いきり跳び下りても安全です。この前は崖に飛び移るかのよう、コブ山から少し離れたウレタンマットに大ジャンプをしていました。チャレンジ意欲をかきたててくれる絶妙な大きさや硬さのこのマットは子どもたちから様々な動きを引き出してくれます。

築山や2つのコブ山をメインとしたデコボコの多い園庭は、ベンチや椅子をただ置くだけで少しガタガタして“怖おもしろい”ハラハラ感があり、これがまた楽しい。勝手にバランス感覚を養うことができます。スコップを両手に持って、ガリガリと園庭いっぱいに線路のような道を描きながら(さあ今日はどんな杉の子コースになっていくのかなあ?)とライブの子どもたちの姿や動きの反応を想像しながら、それに的確に対応できるようにしなければ…と気合いを入れて準備しています。この園庭で育った子どもたち。きっと逞しく成長してくれることでしょう。がんばれ!!

2023年3月号 田村 成 (運動あそび)

みきちん (イラスト)

阪神タイガース応援部

いよいよ、阪神春季キャンプがスタートですね～!!

今回は、キャンプ注目選手を言っておきたいと思います。👏

期待のドラ1! 森下翔太選手

2022年ドラフト1位の森下選手。たんと背番号は鳥谷が着用していた『1』
期待の表れが背番号から伝わってきますね。
2軍キャンプからスタートして森下選手でしたが、途中から1軍キャンプに昇格しました。
森下選手の強みは、鋭いスイング+逆方向にも打てるリスト(手首)の強さ!!
これにプラスして正確なスローイング。選球目も良いということも素晴らしいですね。
そして、たんと岡田監督は開幕3番を構想しているんですね! (掛布さん情報)
どうなるか、3番森下 4番・大山 5番・佐藤輝のクリーンナップに決まります。
ますます開幕が楽しみになってきますよねー👏

正遊撃手争い

木浪聖也選手と小幡竜平選手のショート争い。
木浪選手は、打撃の結果を可哀してアピルしています。
守備も小幡選手よりは範囲が多少狭いが確実に
処理するなど堅実な守備も魅力の一つです。
小幡選手は足の速さと、守備範囲の広さ、肩の強さが
木浪選手よりも勝っています。後は打撃の強さを
もう少し上げれば素晴らしいですね。
今の所、木浪選手が1歩リードとのことですが、
開幕ショートが誰になるのか注目です👀

もうすぐ2023シーズン開幕!!

阪神応援部、部員大募集中です。

“少興味がある”

“阪神気になってきた”

などなど、たんとOK👏

入部希望の方は、

までお願ひします🙏

2023シーズン

優勝するぞー👏